TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第一部 海鷹丸航海調査報告 平成12年度
第1次航海報告

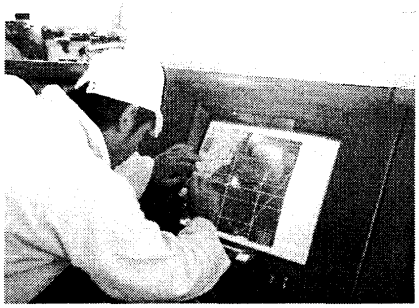
メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2008-04-10
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/237

2. 第 1 次航海報告(Report on the 1st Cruise)

2.1 航海の概要及び航海日程（General Account and Cruise Itineraries）

第 1 次航海の平成 12 年度乗船漁業実習Ⅱは、東京水産大学 3 年次学部生 37 名その他三井造船・各機器のメーカ技術者合計 120 名（寄港地で乗降りあり）が乗船し、平成 12 年 7 月 10 日から平成 12 年 8 月 10 日までの 1 ヶ月間行われた。九州から北海道の日本沿岸周航を行い、東シナ海にてトロール操業実習および日本海にてイカ釣り実習を行った。また新船での海上試験として四国沖にて中層トロール操業試験及び Wesmar 社の 2 種のトロールソナー作動試験及び取扱い説明をメーカ（アメリカニチモウ・ウエスマー）立会いのもと行った。海洋観測機器試験と海洋調査を兼ねた海洋観測実習として昼間 9 回の CTD 観測を東シナ海周辺海域にて実施し、機器の原理・操作・採水およびウインチ操作に関する実習を行なった。また、訓練記録簿を配布し、要目表及び非常訓練等について記入し、訓練評価を行った。

① 航海学　日本沿岸を航行するため地文航法を中心とし、航程（船速）・針路（方位）・船位・レーダーなどの航海計器に関した原理・操作・精度・誤差等、航海諸計算法、航海計画、海図図式、潮汐、航路標識について基礎的な講義および実習を行った。



RADAR　practice

Wacht

② 運用学　本船の種類・構造および主要要目について他船と比較し、船舶の設備や属具について実物と比較しながらその種類・操作・手入れについて実習を行った。操縦性能に関しては、舵性能・可変ピッチプロペラ作用・運動性能および外力の影響について実習を行った。気象通報や NOAA などの情報を元に航海気象の変化について実習した。航海当直においては操舵・各信号類・GMDSS 機器等の説明、日誌類への記入、また、館山湾にて荒天の準備等の実習および STCW による消火・救命・退船等の訓練を実施した。

③ 海事法規　海上交通 3 法（海上衝突予防法・海上交通安全法「中ノ瀬航路・浦賀水道航路等」・港則法「那覇港・京浜港等」）の他、船員法、船舶職員法、船舶設備関連法規、船員労働安全規則、漁船特殊規定、船舶安全法、海洋汚染および海上災害の防止に関する法律、海洋法等について講義実習を実施した。

④ 機関学　機関概要、機関当直、機器の操作・日誌の記入等について講義実習を実施

した。また新潟では船舶機関の工場見学を行い、工程における機器等の説明を受けた。

⑤ 漁業実習および海洋観測実習　トロール実習およびイカ釣り実習において漁具や油圧装置等の関連機器の構成・名称・操作・材質等、漁獲物の加工ついて基礎的な講義実習を行うとともに日本海隠岐周辺海域において水温測定・XBT・CTD 等の機器による海水の鉛直方向の塩分や溶存酸素濃度の測定について海洋観測の基礎的な講義実習を行った。

⑥ その他　書誌類の記入には IMO の標準海事英語を基準として使用した。その他寄港地において市場や養殖場など水産業に関わる施設を実施した。

今航海での実施項目

非常繰練（火災訓練・退船訓練その他）救命艇訓練実施　館山湾

中層トロール操業試験　ニチモウ技術者による網組立てその他　四国沖

底引きトロール操業試験　ニチモウ技術者による網組立てソナ-取扱い 東シナ海

船上大学説明会・父母懇談会及び船内見学会　大学受験者対象　名古屋港

見学会　各寄港地にて見学会実施　満船飾要領

イカ釣操業試験　集魚灯自動イカ釣機動作試験　日本海

船内 LAN 航法関係説明　セナー技士による講習　各寄港地

船内 LAN 機関航海情報関係説明　セナー技士による講習　各寄港地

船内 LAN ネットワーク他、各パソコン関係説明　セナー技士による講習　各寄港地

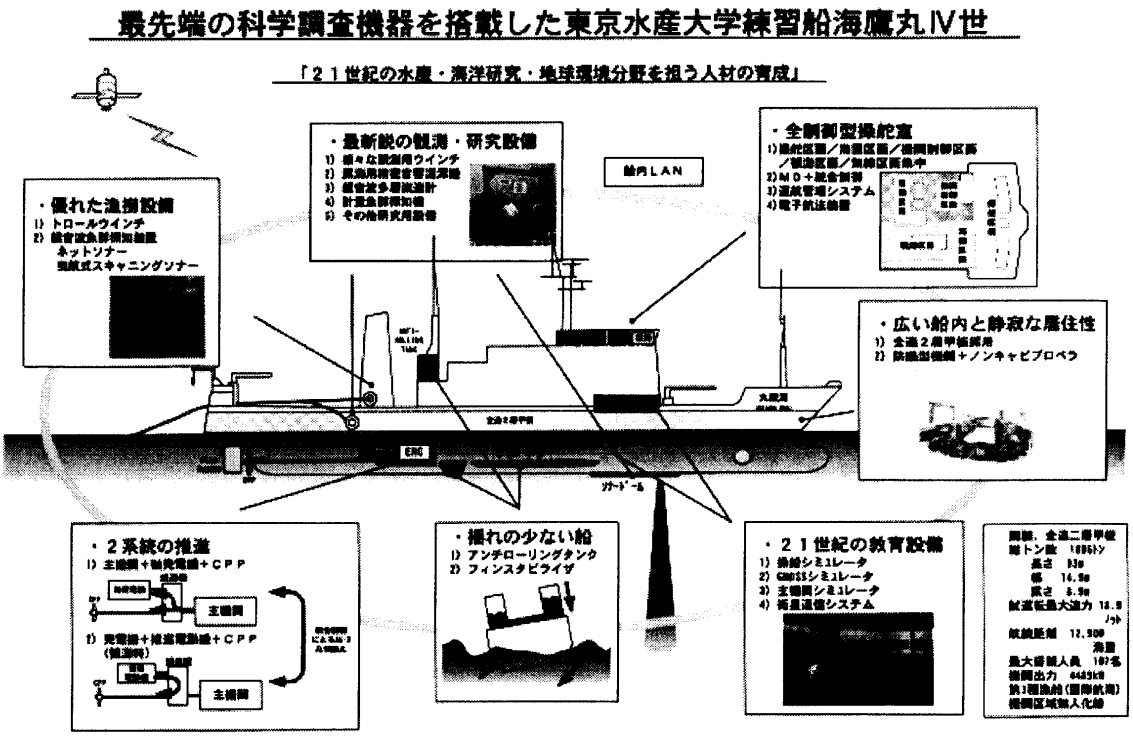
船内 LAN 調査機器及び解析装置説明　セナー技士による講習　各寄港地

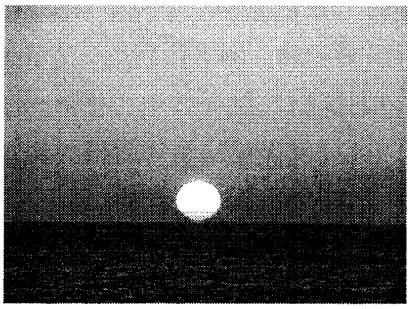
船舶機関工場見学　新潟鉄工　新潟

水産系大学関係者への見学会の実施　長崎・下関・函館

CTD 観測装置作動確認　　SEA、日本海洋、EMS 他　太平洋洋上

各油圧ハッチ、観測クレーン、観測ウインチ作動確認　鶴見精機、SEA 他、洋上
東シナ海周辺海域調査　CTD および水中クロロフィル測定他
IBS としてのレーダ及び ECDIS 調整及び自動操船作動確認　ｱﾄﾗｽ
システム操船作動および取扱い　三井造船他
電気推進作動調整及び機関調整
焼却炉および生ゴミ処理機作動確認　トキメック他
表層モニタリング装置調整　　CT&T 他　研究室海水ﾗｲﾝ及びポンプ確認
本船乗組員・学生・三井造船技術者による、救命艇および救助艇降下訓練

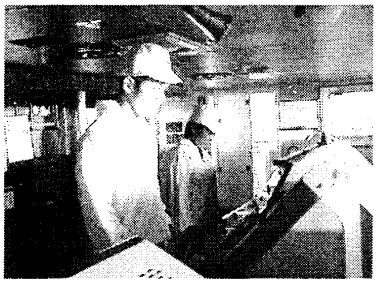


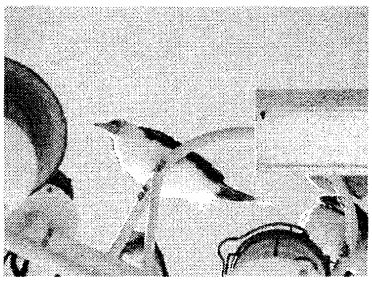


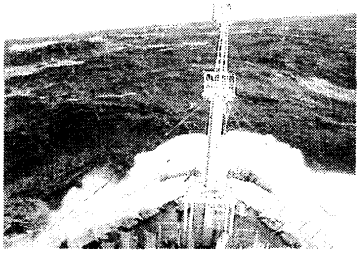
sunset

航海日程（Cruise Itineraries）

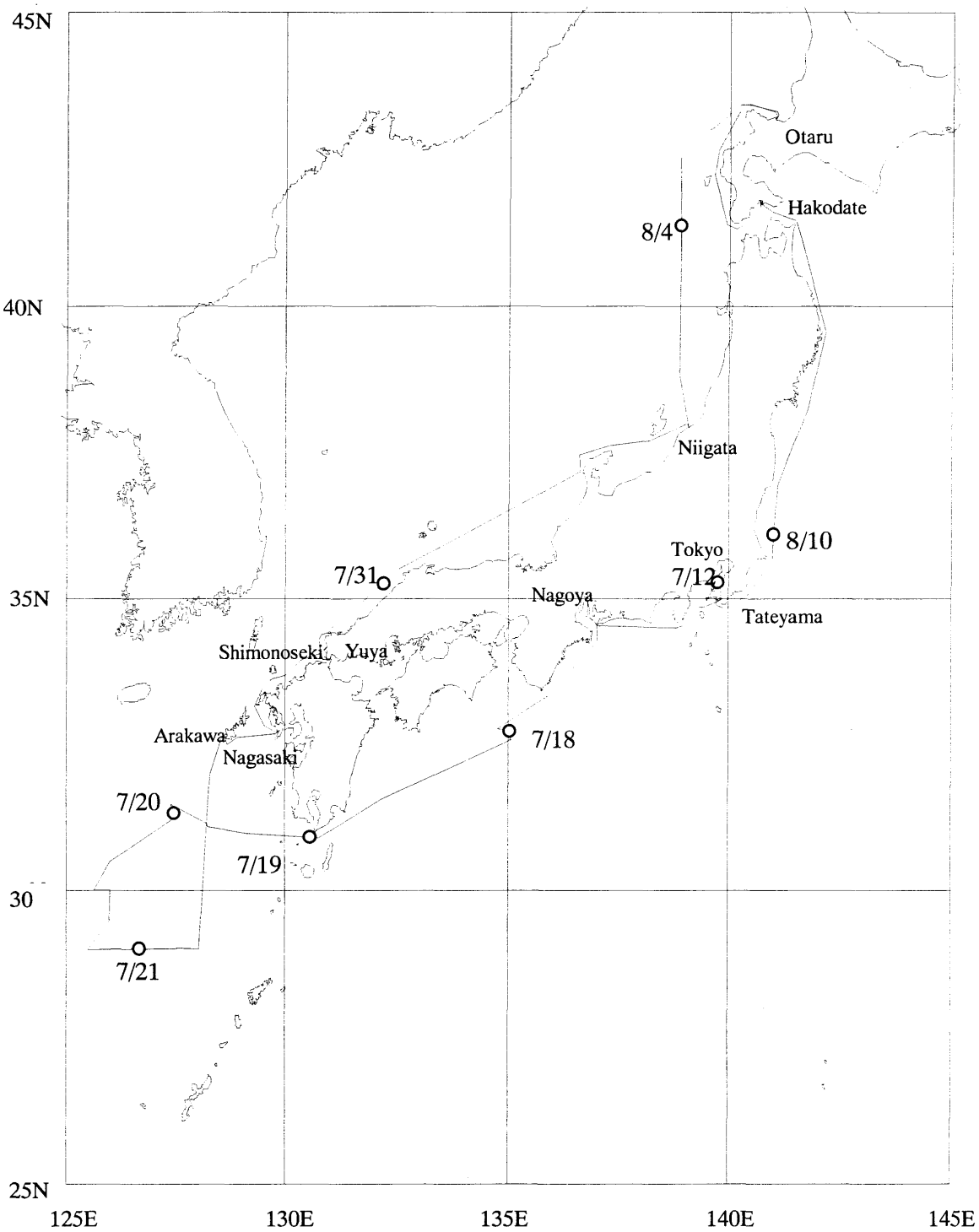
Port	Distance (miles)	Arrival Date	Departure Date
Tokyo			July 12,2000
	72.0		
Tateyama wan		July 12,2000	July 13,2000
	195.0		
Nagoya		July 14,2000	July 17,2000
	617.8		
Fishing ground Observation		July 19,2000	July 20,2000
	51.5		
Fukue Sima Tamanoura		July 22,2000	July 24,2000
	79.7		
Nagasaki		July 24,2000	July 27,2000
	156.0		
Simonoseki		July 28,2000	July 30,2000
	41.9		
Yuya wan		July 30,2000	July 31,2000
	467.1		
Niigata		Aug 1,2000	Aug 3,2000
	395.8		
Otaru		Aug 5,2000	Aug 7,2000
	223.2		
Hakodate		Aug 8,2000	Aug 9,2000
	549.1		
Tokyo		Aug 11,2000	
Total Distance	3,399.7		







2.2 航跡図（Track Chart）



このページは非表示です。

This page is hidden from view.

このページは非表示です。

This page is hidden from view.